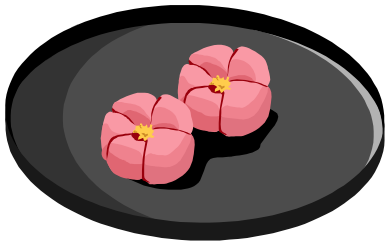


## 京都花街の経営学



### おきなわ F B 短信 ( 4 ) ( 1 分間で読めます。 )

平成 21 年 2 月 18 日 ( 水 )

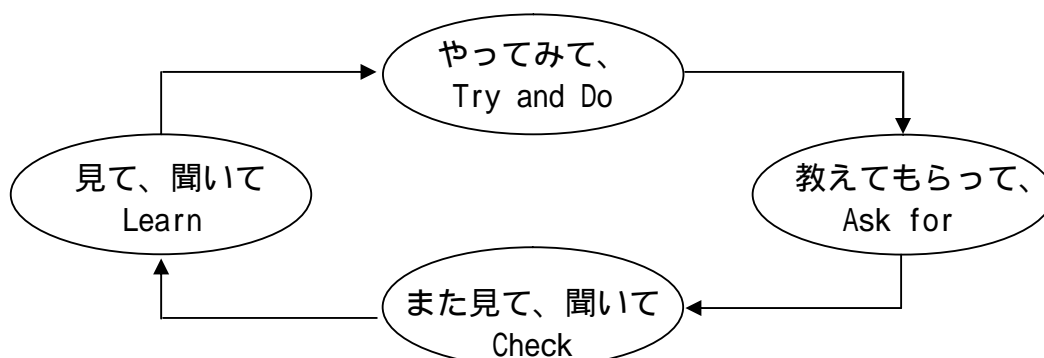
#### 350 年も続く「京都花街の経営学」 - 人材育成と外注方式 -

京都女子大学准教授 西尾久美子先生から、昨年 11 月にハウステンボスで行われたファミリー - ビジネスコンファレンスで講義を受けた。そして、表題の西尾先生の著書 ( 東洋経済新報社 ) の要約をした。

#### 人材育成、教育制度 ( 学校教育に加えて、働きながら学ぶこと )

- ・ 学校 ( 一生女紅場の生徒 )、置屋、お茶屋、顧客からの 360 度評価...学校教育...
- ・ 伝統文化 ( 教育と師匠 )  
日本舞踊、三味線、鳴物、笛、唄 ( 長唄、常磐津、地唄、小唄、端唄 )、茶道、都をどり、京おどり、鴨川をどり
- ・ 上品さ ( 家庭としつけ )  
立ち居振舞い、京言葉、お化粧、頭髮、着物、花街の習慣、行儀...実地教育...
- ・ 即興性 ( お座敷と実践 )  
反応のよさ、受け答え、話術、臨機応変の対応、雰囲気を見る、年間 1,000 回のお座敷
- ・ 評価と育成 ( みんなが見てはる ) ...評価システム...  
お母さん、お姉さん、同輩、お客様  
見て・聞いて・教えてもらって・また見て・聞いて

#### 学びと実践のサイクル



- ・宝塚歌劇団は、小林一三が花街の芸舞妓育成の学校制度を参考にして、設立したと  
言われている。...ノウハウ

## 外注方式（設備投資の軽さ）とは目利きの厳しさと品質維持

東京、大阪の料亭は設備投資重視のハード型の業態であり、大型化を目指したが、京都のお茶屋は情報重視のソフト型とは言え、大型化せず市場の有限をわきまえて、市場を刈り取ってしまわずに、継続的に手入れをしてお互いに持ちつ持たれつを保ち、業界でシェアしているとも言える。

- ・東京 - 料亭 - 高級化（大型化設備投資） - 顧客の特別化、高級化 - 一時期繁栄、環境不対応 - 廃業多発
- ・大阪 - お茶屋と料理部門の兼業 - 規模の拡大（4階建のビル）と高級化による収益拡大 - 環境不対応 - 廃業多発
- ・京都 - お茶屋 - 外注方式（芸舞妓、料理屋、花屋、道具屋、...顧客情報重視） - 350年の継続

### お茶屋を中心とした外注方式 （施設投資の軽さ）

